

開催日時	令和6年1月17日（水） 9時30分から11時30分まで
参加者	委員：9名、関係機関：15名
場所	東行政センター 31・32会議室
内容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 長上・笠井地区生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3 前回の振り返り 生活支援コーディネーターより、前回の協議体会議で話し合った内容について共有。</p> <p>4 他地区の取り組み“積志地区社協の家事支援・サロン活動について”</p> <p>(1) 家事支援事業「積志ちょっとおてつだい」 事前に家事支援に関する質問を両地区の協議体委員より募り、事務局にて取りまとめ。積志地区社協の家事支援担当者に取材し、得た回答を事務局より報告した。実際に使用されている領収書や報告書類の写真とともに、両地区から事前に募った19の質問とその回答を報告。</p> <p>(2) サロン活動①「つみしサロン」、(3) サロン活動②「漆島農園サロン」 情報提供として2つのサロンを事務局より報告した。活動中の様子や活動場所の写真とともに、発足の経緯や実際の活動の様子について報告。</p> <p>5 意見交換 前回会議にて委員の方より「両地区が一緒に話せる場を」とのご意見をいただき、今回初めて両地区混合グループでの意見交換を実施。 意見交換の内容としては、他地区の取り組みを聞いての感想や、それぞれの地区の家事支援活動の様子や活動中の課題、その他聞いてみたいことについて意見交換を行った。</p> <p>A グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の手が足りない。 ・ジャンパーなどを両地区で同じものを作り、外から見たときに活動していることが分かるようにしてはどうか。「何をやっているの？」と興味を持ってもらえる。 ・移動手段について考えなければいけない。お金の問題、保険の問題など課題を解決するにはボランティアだけでは難しい。

	<p>B グループ</p> <p>(笠井地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援・要介護状態を聞き、ケアマネと連携して支援に入るようにしている。 ・支援員は 28 名いても足りない。 <p>(長上地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者からの依頼が多い。重い物の買い物などの支援依頼がくる。 ・特別な事情がある方は必ず包括や民生委員、市社協と連絡を取り相談している。 ・支援員のアンケートは年一回やった方が良い。 <p>※一番の問題は移動の問題。路線バスの廃止の問題などもあり、移動については共通の問題。</p> <p>6 閉会 長上・笠井地区生活支援体制づくり協議体 副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回は、他地区の取り組みとして事務局から積志地区社協の家事支援とサロン活動についての報告と、意見交換を行った。</p> <p>意見交換では、今回初めて両地区混合グループでの意見交換を実施し、活発な意見交換が行われた。今後も継続して行っていきたい。また、どちらのグループからも移動についての話題が多く出た。このことを踏まえて、今後は移動についても協議していく必要があると思われる。</p>